

十字路 (1928)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 65分

初公開日 1928/05/11

公開情報 松竹キネマ

【解説】

衣笠貞之助が「狂った一頁」に続いて監督した、前衛的なサイレント時代劇。「カリガリ博士」などに通じるドイツ表現主義的な作風で、ヨーロッパで高い評価を受けた。プリントもネガも存在しないとされていたが、ロンドンでほぼ完全な英語版プリントが発見された。

女を巡る喧嘩から相手を刺殺し失明する弟。十手を持つ男にだまされ見知らぬ男を殺してしまう姉。しかし刺殺された男は生き返り、失明したはずの目は治り、死んだはずの男は女と一緒にいる…。すべては現実なのか虚構なのか。姉は十字路でひとり、帰らぬ弟を待ち続けるのだった。

【クレジット】

監督 衣笠貞之助

原作 衣笠貞之助

脚本 衣笠貞之助

撮影 杉山公平

美術 友成用三

出演 千早晶子 姉

阪東寿之助 その弟

小川雪子 矢場の女

相馬一平 十手を持つ男

中川芳江 女を売る婆

関操 二階を貸す爺

二條照子 間違えられる女

小沢茗一郎 喧嘩を売る男